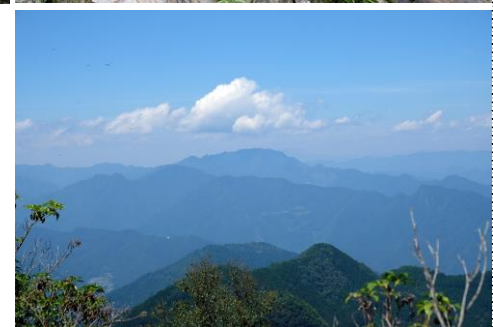


霧藻ヶ峰 (きりもがみね 1523m)

8月も貸切バスは走らず、公共交通機関での開催となった。現地集合解散の自由参加方式で参加者はゲストの高島さんを含めて8名。東武線、秩父鉄道、(西武秩父線での参加も)西武観光バスを乗り継いで三峯神社駐車場に10時前に到着した。三峯神社は大勢の観光客で賑わっていた。バスが三峯神社駐車場内にあるバス停に近づくにつれて駐車場に入ることができないほどだった。◆今日の目的地の霧藻ヶ峰は三峯神社から雲取山への登山道の途中にある場所で上りのコースタイムは2時間弱。バス停横のトイレで態勢を整えて出発すると樹間の石畳の参道が続く。◆奥宮・妙法ヶ岳への道と別れて雲取山方面へは右側が崖のような緩い上りの道で山側にはヤマジノホトトギスが点々と咲いている。炭焼平から急登に変わるがここをゆっくり登りきると北方面が開けた場所にある地蔵峠へ到着。両神山が見渡せる。地蔵峠からすぐに秩父宮御夫妻のレリーフのある場所に、更にその先が霧藻ヶ峰だ。◆霧藻ヶ峰の名前は元々岩山、燕岩という名前があったが、秩父宮親王が1933年(昭和8年)の夏、ここへ登山に訪れた際、「霧藻ヶ峰」の名をサルオガセ(霧藻)があることから名付けたそう。◆霧藻ヶ峰の茶屋横の日影で昼食を摂り下山。バスの便が少ないので14時30分のバスに間に合うように下ることにする。順調に下っていたが間もなく奥宮・妙法ヶ岳への分岐に着く手前で登山道に倒木が二本纏まって倒れていて、ここで小さなアクシデントがあったがそれもなんとか切り抜け予定より早く14時前に三峯神社駐車場に到着した。◆下界は猛暑。しかし1500mの場所では吹いてくる風も涼しく感じられた。しかし下山している途中から徐々に気温が上がってくるのが分かる。人混みとバス・電車でのマスクが苦しく感じられる一日だった。



若葉駅 6:18→8:45 三峰口駅 8:55→9:45 三峯神社駐車場 出発 9:55→奥社・妙法ヶ岳分岐 10:18→炭焼平 11:12→地蔵峠 11:50→霧藻ヶ峰 12:00(昼食)下山 12:35→炭焼平 13:08→奥社・妙法ヶ岳分岐 13:37→三峯神社駐車場 13:56 14:30 発→15:15 三峰口駅 15:46→若葉駅着 18:02 (伊藤記)